

Paul Audi 氏 講演会

COMPASSION ET AFFECTIVITÉ

(同情と情感性)



ポール・オーディ

哲学者。1963 年レバノン生まれ、75 年フランスに帰化。高等師範学校を卒業後、パリ・ソルボンヌ大学にジャン＝ジャック・ルソーに関する論文を提出し、博士号を取得。ミシェル・アンの哲学に影響を受けつつ、美学＝感性論と倫理の交差において創造的生の意味を思考してきた。ルソー以外にも、ニーチェ、マラルメ、ラカン、ロマン・ガリーなどに関する著作がある。近著に『自由・平等・単独性——遺産としてのルソー』（2021）、『厄介なアイデンティティ』（2022）、邦訳としては川瀬雅也訳『ミシェル・アンリ——生の現象学入門』（勁草書房、2012 年）が刊行されている。

2024 年 2 月 14 日（水）16 時 30 分より

フランス語使用 通訳・翻訳配布あり

会場：成城大学 8 号館 3 階 831 教室

成城学園前駅より徒歩 4 分（世田谷区成城 6-1-20）

主催：Nouvelles perspectives sur la réalité de l'affectivité 〔科研費基盤研究(C)

「出来事と実在性の現象学に関する日仏共同研究」(20K00046) 〕

共催：情感性研究会 〔科研費基盤研究(C)「情感性概念の応用的拡張——アンリ哲学研究の新展開」(23K00008) 〕